

絵画から物語の読みを深める
～『伊勢物語』とその文化的背景～

大阪教育大学附属高等学校池田校舎
秋長 幸依 ・ 梶木 尚美

1. はじめに

(1)教科の観点から

古文を学習するにあたって、作品に描かれた世界観を読み解くには、その作品や時代の文化的背景を理解する必要がある。しかし、たとえば平安時代の貴族の暮らしや、恋愛・結婚などに関する高校一年生の既有知識は少なく、教師が説明することが多くなってしまふ。もちろん、教師が分かりやすく解説することも必要だが、生徒が自身で気づきや学びを得られる授業こそが、主体的な学びと言えるだろう。本授業では、絵巻物などの絵画資料をグループで読み解くことで、その作品や時代の文化的背景に気づきを得て、それを作品の内容読解につなげていく力を養っていきたい。

(2)学校図書館の観点から

物語を読む、すなわち読書という活動は、学校図書館との親和性が高いものの一つである。ただし『伊勢物語』は平安時代に書かれ、1,000年間以上も読み継がれてきた読み物である。この物語を読むことで、現代に生きる私たちは何を感じ、得ることができるのだろうか？古文の教材から、高校生たちは何を探究し学びを深めるのだろうか？

昨年度、本研究会学校図書館教育部は社会(地歴)科とのコラボレーションで探究型学習に取り組んだ。コラボレーションの中での学校図書館員の役割は、教科担当教員と授業のゴールを共有し、必要な情報を適切なタイミングと方法で提供することであった。今年度は国語科における探究の学びを国語科の教員とともに追究し、生徒自身が主体的・協働的に学ぶ意味と方法を明らかにしていきたい。

2. 単元の概要

(1)対 象

附属高等学校池田校舎 1年4組 (41名)

(2)単元設定の理由

平安時代には、物語の多くは絵画とともに、絵画を見ながら読まれたことが知られている。このように絵画鑑賞を伴って作品を読むことで、読者はより具体的に作品の世界観を思い描き、味わうことができる。また、慣れない古語や文法にとまどったり、主語等の省略のために文脈がとりづらかったり、現代と異なる風習等のために具体的なイメージを描きにくかったり、という古文学習導入期の高校一年生にとっては、学習の理解を手助けする補助教材としての効果も期待できる。そのため、これまでの授業では、グループで絵画の中に何が描かれているかを読み解くことで、本文のあらすじを読み取るという形式で絵画資料を活用してきた。今回の授業では、そこからもう一歩進んで、絵画資料を読み解くことで、物語の読みを深めることにつなげていきたいと考えている。

本単元では、昔から多くの人々に親しまれてきた『伊勢物語』を教材として扱う。『伊勢物語』は恋愛要素を多く含むため、高校生にとっても、親しみやすい作品である。また、物語文学として後世の文学作品や芸術に沢山の影響を与えたという意味でも、高校生に知っておいてほしい作品である。授業では、恋愛エピソードが描かれた「芥川」と「筒井筒」の章段を扱う。古文を読むだけでなく、複数の絵画資料を比較検討することで、その絵の中に反映された描き手の解釈の違いや、現代との文化・風習の違いなどを多面的・多角的に考察する。そして、他者との議論をとおして解釈を吟味していく過程を通じて、作品の読みや解釈、古文作品に対する関心を深められる授業を展開したい。

(3)目標

①教科

- ・『伊勢物語』の本文読解を通じて、平安時代の男女のあり方や恋愛模様を知ることを入力として、古文作品に親しむ姿勢を養う。
- ・『伊勢物語』に関する絵画資料を鑑賞して、作品の文化的背景を理解する。それをもとに、作品の内容読解および解釈を深める。
- ・さまざまな資料から必要な情報を読み取り、その情報を言語化してまとめる活動に、他者と協力して取り組む。

②学校図書館

- ・さまざまな情報源や表現形式の資料から必要なものを選択してまとめる活動を、他のメンバーたちと協力して取り組む。
- ・収集した情報をもとに、明確な根拠によって結論を導き、適切な事例をあげて主張する。

(4)評価規準表

①教科

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
『伊勢物語』の各章段について、関心をもって意欲的に追究する。	文章と複数の絵画資料を比較検討し、他者との議論を通じて、そこに描かれているものを解釈し、言語化する。	資料から情報を的確に読み取り、グループの課題に応じて関連する情報を収集する。また、参考文献の出典・引用について、適切に表記・表現する。	様々な資料を多面的・多角的に考察することで、作品の読みを深め、その文化的背景に対する気付きを得る。

②学校図書館(情報リテラシー基準 AASL)

情報リテラシー	自主(自立)的学習	社会的責任
正確かつ創造的に情報を利用することができる。	情報の創造的な表現を鑑賞することができる。	グループへの効率的な参加を通して情報を探究し、生成する。

(5)学習計画

	教科(生徒の活動)	学校図書館(支援)	評価
第一次	章段「芥川」「筒井筒」の物語絵から物語のあらすじを想像した後、クラス全体で語句解説、口語訳の確認をして、最初に抱いたイメージとの違いを整理する。	「芥川」「筒井筒」の絵画及び解釈に関する図書を収集し、教員・生徒の活動を支援する。	生徒の活動を観察 ○国口語訳(語句、文法)。 ○図絵画を観察し、必要な情報を引き出して推論を立てる。
第二次	「芥川」「筒井筒」について、複数の絵画を比較しながら、物語と絵画の情報を調べ、作品の解釈とその時代・文化的背景をグループで討論する。	「芥川」「筒井筒」の絵画、解釈・平安時代に関する図書を収集し、活動を支援する。 グラフィックオーガナイザーの提案と活用を支援する。	ワークシート ○国時代・文化的背景を踏まえて作品を鑑賞する姿勢をもつ。 ○図情報を適切に選択する。 ○図明確な根拠をもって結論を導く。

第三次 (本時)	【パフォーマンス課題】 担当する作品についての情報や解釈を、議論を通してまとめ、全体発表でのプレゼンテーションの準備をする。	絵画、解釈及び必要な情報に関する図書を集集し、活動を支援する。 成果物作成、プレゼンテーションの準備を支援する。	生徒の活動を観察・ワークシート・「伊勢物語と物語絵のしおり」 ○国○図他者との議論を通じ、論理的で説得力のある解釈を導き出し、的確に相手に伝えるプレゼン法を導く。
第四次	全体発表。それを踏まえて、『伊勢物語』の文学作品としての意味合いや、平安時代の男女のあり方について学習する。	発表会を支援する。	相互評価・ふり返しシート、 ○国作品と平安時代の文化とを関連付けて、『伊勢物語』を理解する。 ○図学びの過程をふり返し、新たに得た知識や理解を認識する。

パフォーマンス課題：あなたは「伊勢物語ミュージアム」の学芸員です。特別展「伊勢物語と物語絵」の開催期間中に、高校生が国語の探究学習のために、ミュージアムにやってきます。訪れてきた高校生に、あなたが担当する「芥川」（もしくは「筒井筒」）の魅力伝えてください。その際、展示企画には、視覚資料（一枚の絵画と解説文）および聴覚資料（プレゼン）を入れてください。

3. 本時の概要

(1)目標

①教科

- ・絵画鑑賞を通じて、これまで『伊勢物語』が人々にどのように享受されてきたのかを考察する。その際、現代文の授業で、作品の印象に残った部分を絵画化して鑑賞した体験をふまえ、絵画にはそれぞれの描き手や描かれた時代ならではの解釈が反映されうること意識して鑑賞する。そして、複数の絵画を比較検討することで物語の主題を確認したり、本文とは異なる絵画描写の根拠を探究することで作品の文化的背景に関する気付きを得たりする。
- ・課題に関するグループ討論のなかで他者の意見を傾聴し、自分の考えを深める。
- ・夏休みに、古文作品に縁のある地や博物館を訪れてレポートを執筆した体験をふまえ、どのような展示およびプレゼンをすれば効果的か、他者に分かりやすく伝える力を養う。
- ・資料の出典・引用を適切に表記・表現する。

②学校図書館

- ・創造的に表現された情報を分析する。
- ・グループで協力して、情報の活用と生成に取り組む。

(2)展開

	学習活動および内容	教科教員の動き	図書館員の動き	評価
導入	①本日の活動目標、パフォーマンス課題の確認。	授業目標、活動を明確に指示する。	活動を支援する。	生徒の活動を観察。
展開	②グループで前時の討論内容をふり返り、担当章段の主題や作品について調べたことを確認する。 ③プレゼンターマをしばり、それにふさわしい絵画を一枚選ぶ（作成も可）。 ④③の絵画鑑賞から得られる知見を、解説文およびプレゼン内容として整理し、発表準備をする。	生徒の活動を支援する。必要に応じて助言をする。	図書、タブレットの活用を支援する。 不足している情報の収集を支援する。 情報整理を支援する。	ワークシート ○国作品を多角的に鑑賞・考察する。 ○図必要な情報を獲得する。 ○図他者と協働して情報を活用する。 「伊勢物語と物語絵のしおり」

まとめ	⑤本時のまとめ、次回の予告。	ふり返りと予告。	活動を支援する。	シロップ ○国テーマに即した絵画と解説文を作成する。
-----	----------------	----------	----------	-------------------------------

4. 準備物

- ・国立国会図書館所蔵番号 WA7-238 「伊勢物語.上・下」 (同図書館のデジタルコレクションより)
- ・東京国立博物館所蔵番号 A-6916 「伊勢物語絵巻_模本」 (同博物館の画像検索より)
- ・そのほか伊勢物語絵の資料
- ・iPad, ワークシート
- ・教科書『精選 国語総合 古典編』筑摩書房 2014年

5. 参考文献

- ・山本登朗著『古典を楽しむ 絵で読む伊勢物語』和泉書院 2016年
- ・岡野弘彦『恋の王朝絵巻 伊勢物語』淡交社 2008年
- ・AASL編著 全国SLA海外資料委員会訳 渡辺信一・平久江祐司・柳勝文監訳『シリーズ学習者のエンパワーメント第1巻21世紀を生きる学習者のための活動基準』全国学校図書館協議会 2010年
- ・AASL・教育コミュニケーション工学協会(AECT)編著 同志社大学学校図書館学研究会訳『インフォメーション・パワー：学習のためのパートナーシップの構築』同志社大学 2000年
- ・AASL編 全国SLA海外資料委員会訳『学校図書館メディアプログラムのためのガイドライン』全国学校図書館協議会 2010年
- ・塩見昇編著『教育を変える学校図書館』風間書房 2006年
- ・アメリカ公教育ネットワーク, AASL著 足立正治 中村百子訳『インフォメーション・パワーが教育を変える!—学校図書館の再生から始まる学校改革』高陵社書店 2003年